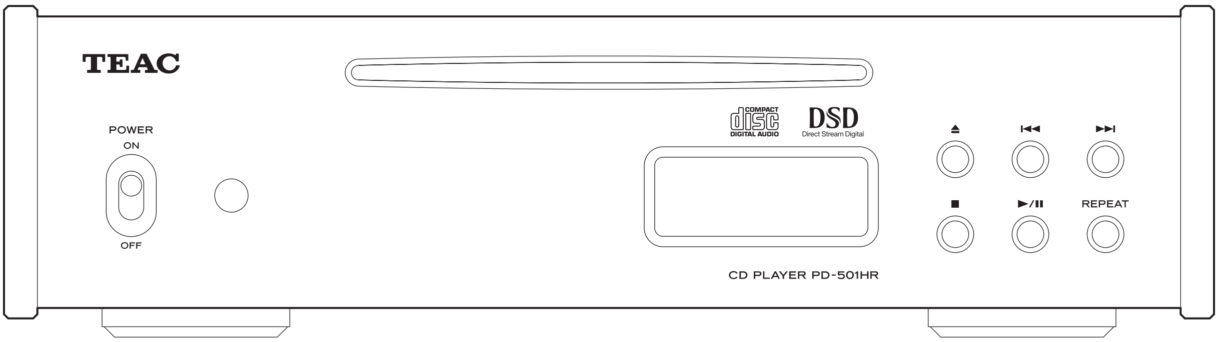
TEAC

PD-501HR

CD プレーヤー

取扱説明書

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に
保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



D01179801B

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く **通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。**
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠	注意　乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠	注意　電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕ とマイナス⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

目次

安全にお使いいただくために. 2
付属品 5
お使いになる前に 6
お手入れ. 6
リモコンの使い方 6
WAV/DSD ファイルについて 7
ディスクについて 8
接続 10
各部の名前とはたらき (本体). 12
各部の名前とはたらき (リモコン) 13
基本操作. 14
好きな曲から再生する. 16
フォルダー / ファイルを選ぶ. 17
リピート再生 18
シャッフル再生. 19
プログラム再生. 20
ディマー. 23
ディスプレーの表示 23
ピュアモード再生 24
困ったときは 25
仕　様 26
保証とアフターサービス 27

“DSD” は登録商標です。

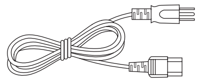
記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品

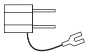
万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

RCA オーディオケーブル × 1

電源コード × 1



電源コード変換コネクタ (3P-2P) × 1



リモコン（RC-1306）× 1

リモコン用乾電池（単 4）× 2

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- AI-501DA 等、他の 501 シリーズとの重ね置きは問題ありません。

⚠ 使用上の注意

大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を及ぼすことがあります。耳を守るため、ヘッドホンを長時間使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4ページの注意をよく読んでお使いください。

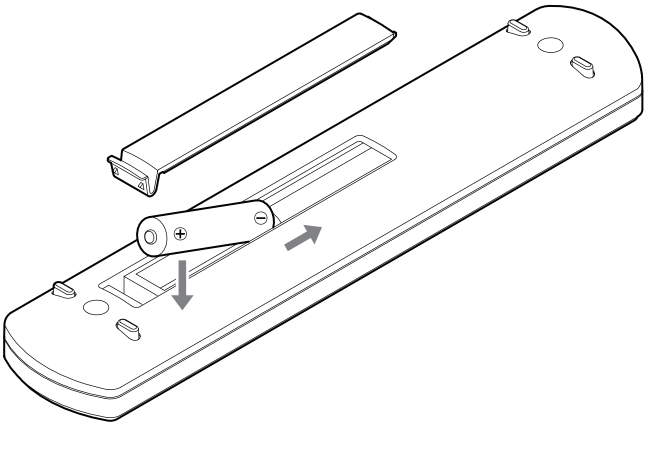
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの＋と－の表示に合わせて乾電池 (単４形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

WAV/DSD ファイルについて

本機は、CD-ROM/R/RW に記録された WAV ファイル、DVD-ROM/ ± R/RW に記録された WAV ファイルと DSD（Direct Stream Digital）ファイルを再生することができます。パソコンなどを使って WAV/DSD ファイルを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字（1 バイト文字）しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字（2 バイト文字）が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。

- WAV/DSD ファイルの認識はファイル拡張子（WAV の場合「.wav」、DSD の場合「.dsf」）で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。

- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていても WAV または DSD データ形式でないファイルは再生できません。

- フォルダーとファイルの合計が 999 を越えているディスクは、本機で正しく再生できないことがあります。

- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

再生できる WAV ファイル

CD-ROM/R/RW ディスクの場合

- 音声：モノラルまたはステレオ
- サンプリング周波数：44.1k、48kHz(88.2kHz 以上は再生できません)
- 符号化ビット数：16 ビット、24 ビット

DVD-ROM/ ± R/RW ディスクの場合

- 音声：モノラルまたはステレオ
- サンプリング周波数：44.1k、88.2k、176.4k、48k、96k、192kHz
- 符号化ビット数：16 ビット、24 ビット

再生できる DSD ファイル

CD-ROM/R/RW ディスクの場合

- DSD ファイルは再生できません。

DVD-ROM/ ± R/RW ディスクの場合

- 2ch ステレオ
- DSD2.8M または DSD5.6M フォーマット

ディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。

オーディオ CD について

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD(12cm) を再生することができます。

- 8cm CD は再生できません。

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
  上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。
- ビデオ CD は再生できません。
- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-ROM/R/RW について

本機は音楽 CD フォーマットまたは ISO9660 規格 LEVEL 1/2/JOLIET フォーマットで記録された CD-ROM/R/RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。WAV ファイルを記録した機器でファイナライズしておいてください。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

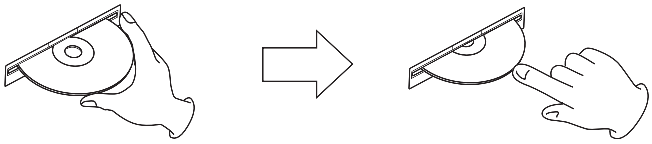
DVD-ROM/ ± R/RW について

本機は UDF、DVD-ROM 互換フォーマットで WAV または DSD ファイルが記録された DVD-ROM/ ± R/RW を再生することができます。

- Super Audio CD は再生できません。
- DVD ビデオ、DVD オーディオなどは再生できません。

ディスクの挿入方法

1. 図のようにレーベル面を上にしてディスクの側面を持って、途中までディスクを挿入してください。
2. さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

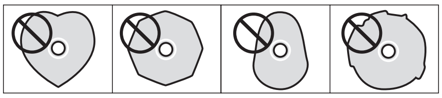


ディスクがうまく入らないとき

ディスクが引っかかるなど、押しにくい時は、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いて EJECT ボタン (⏏) を押し、一旦ディスクを抜いてから再度入れ直してください。（無理に押し込むと、製品やディスクを破損する場合があります。）

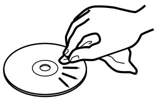
使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタル CD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついている場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

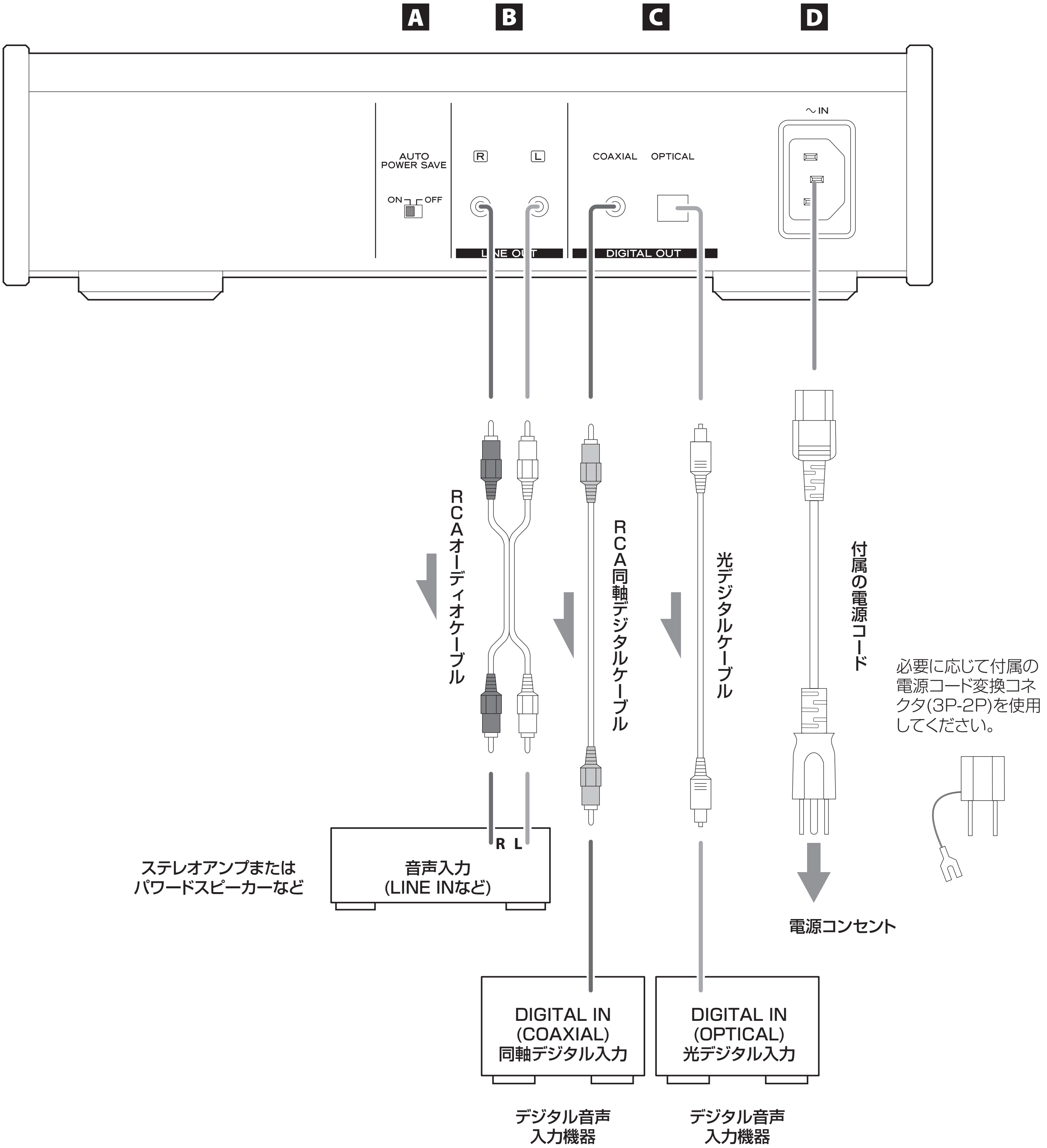


- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/RW や DVD ± R/RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

接続



A
B
C
D
AUTO
POWER SAVE
ON
OFF
R
L
LINE OUT
COAXIAL
OPTICAL
DIGITAL OUT
～IN
RCAオーディオケーブル
RCA同軸デジタルケーブル
光デジタルケーブル
付属の電源コード
必要に応じて付属の電源コード変換コネクタ(3P-2P)を使用してください。
R L
音声入力
(LINE INなど)
ステレオアンプまたは
パワードスピーカーなど
電源コンセント
DIGITAL IN
(COAXIAL)
同軸デジタル入力
DIGITAL IN
(OPTICAL)
光デジタル入力
デジタル音声
入力機器
デジタル音声
入力機器

A オートパワーセーブスイッチ (AUTO POWER SAVE)

オートパワーセーブ機能をオン / オフします。
ON に設定した場合、音声出力がない状態で 30 分以上操作しないと、スタンバイ状態になります。

- スタンバイ状態のとき、本体またはリモコンのボタンを押すと、電源がオンになります。

B アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。アンプなど音声入力機器と接続してください。

- 接続には付属または、市販のオーディオケーブルをお使いください。

C デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT)

デジタル音声を出力します。デジタル音声入力機器のデジタル音声入力端子と接続してください。

COAXIAL:RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL: 光デジタルケーブル (TOS)

- 接続には市販のケーブルをお使いください。
- デジタル出力 (COAXIAL、OPTICAL) のサンプリング周波数、ビット数は再生ソースと同じになります。但し、DSD 再生時、及び CD/PCM の PURE モード再生時は出力されません。

D 電源インレット (~ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

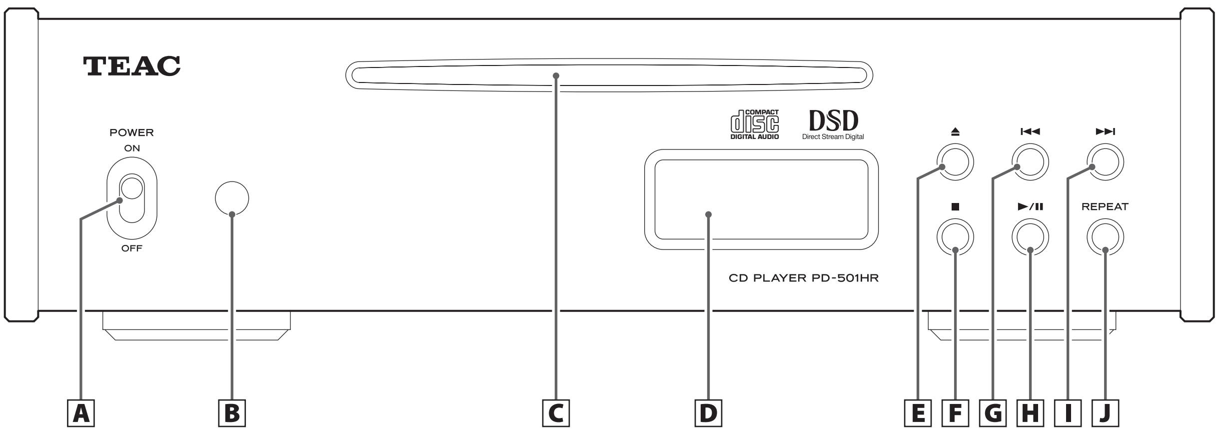
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

各部の名前とはたらき（本体）



A 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

B リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

C ディスク挿入口

ディスクを挿入します。ディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。

D ディスプレー

各種情報を表示します。(23 ページ)

E 取り出しボタン (⏏)

停止中に押すとディスクが途中まで排出されます。ディスクの側面を持って引き抜いてください。

F 停止ボタン (■)

再生中に押すと停止します。

G スキップ (I◀◀) ボタン

前の曲にスキップします。再生中に押し続けると早戻しができます。(16 ページ)

H 再生 / 一時停止ボタン (▶/II)

停止中に押すと再生を開始します。
ディスクの再生中に押すと一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

I スキップ (▶▶I) ボタン

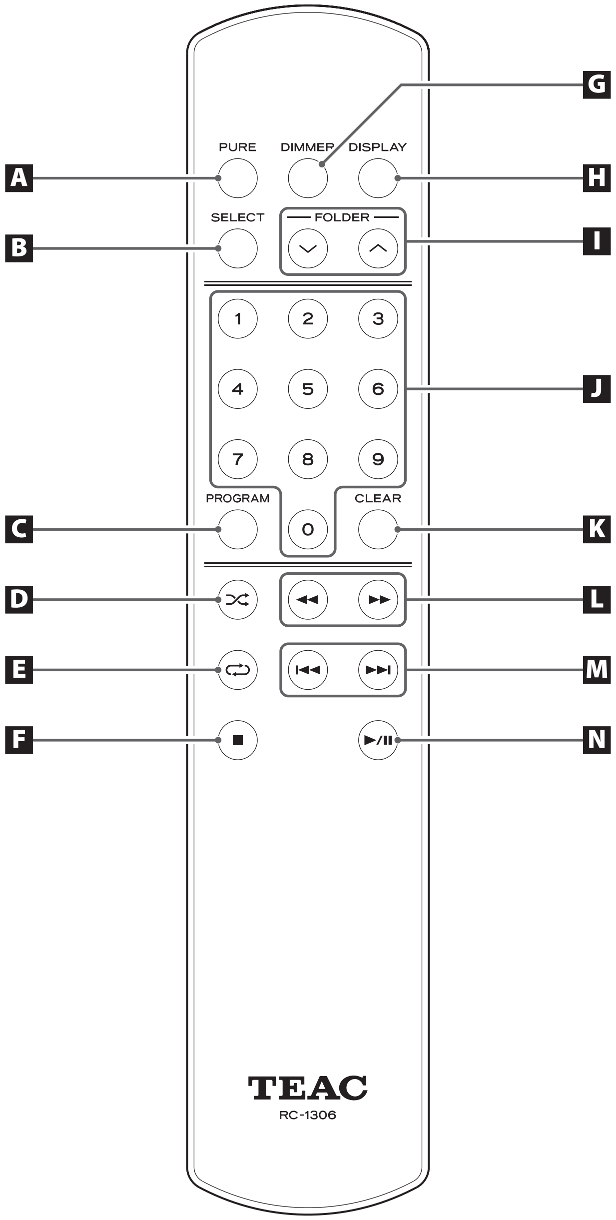
次の曲にスキップします。再生中に押し続けると早送りができます。(16 ページ)

J リピートボタン (REPEAT)

リピート再生のモードを切り換えます。(18 ページ)

この取扱説明書では、本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、どちらか一方のボタンを使って説明します。
説明が記載されていない方のボタンも同様に使えます。

各部の名前とはたらき（リモコン）



A ピュアモードボタン [PURE]
停止中に押すと、ピュアモード再生のオン、オフを切り換えます。(24 ページ)

B 選択ボタン [SELECT]
フォルダーボタン（FOLDER∧/∨）やスキップボタン (|◀◀ / ▶▶|) で選んだものを確定します。（17 ページ）
WAV/DSD ディスクがセットされいるとき、停止中に選択ボタン [SELECT] を押すと、ディスクモードとフォルダーモードが切り換わります。(14 ページ)

C プログラムボタン［PROGRAM］
プログラム再生に使用します。（20 ページ）

D シャッフルボタン［⤮］
シャッフル再生に使用します。（19 ページ）

E リピートボタン［🔁］
リピート再生に使用します。(18 ページ)

F ストップボタン［■］
再生中に押すと停止します。(15 ページ)

G ディマーボタン［DIMMER］
ディスプレーの明るさを調節します。（23 ページ）

H ディスプレーボタン［DISPLAY］
ディスプレーの表示を切り換えます。（23 ページ）

I フォルダーボタン［FOLDER ∧/∨］
WAV/DSD ディスク再生のとき、前または後ろのフォルダーにスキップします。（17 ページ）

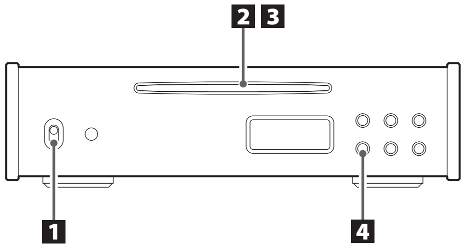
J 数字ボタン
選曲、プログラムに使用します。（16、20 ページ）

K クリアボタン［CLEAR］
プログラムした曲を削除します。（22 ページ）

L サーチボタン［◀◀ / ▶▶］
再生中にサーチボタンを押し続けると、早送り / 早戻しができます。（16 ページ）

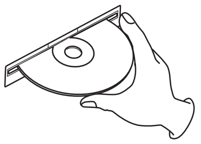
M スキップボタン［|◀◀ / ▶▶|］
前または後ろの曲にスキップします。（16 ページ）

N 再生 / 一時停止ボタン［▶ / ❚❚］
停止中に押すと再生を開始します。（14 ページ)
ディスクの再生中に押すと一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

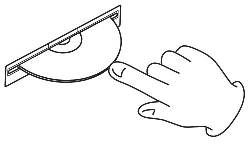


1 電源を入れる。

2 レーベル面を上にしてディスクの側面を持って、途中までディスクを挿入してください。



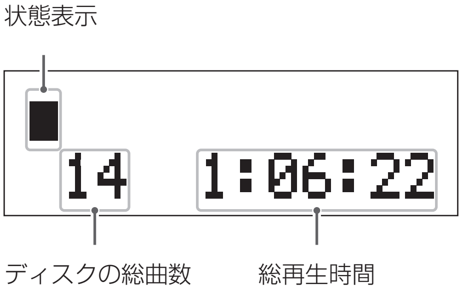
3 さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。



ディスクが引っかかるなど、押しにくい時は、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いてEJECTボタン(⏏)を押してから、再度入れ直してください。(無理に押し込むと、製品を破損する場合があります。)

- WAV/DSDディスクがセットされいるとき、停止中に選択ボタン[SELECT]を押すと、ディスクモードとフォルダーモードが切り換わります。

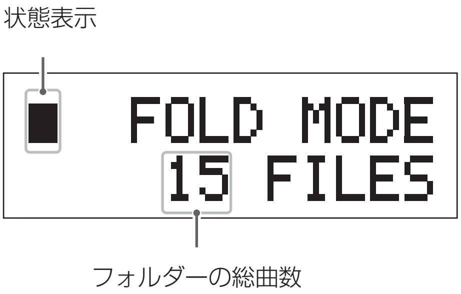
オーディオCDの表示例



WAV/DSDディスクの表示例

ディスクモード(ディスク全体を再生)

フォルダーモード(再生フォルダーを指定)

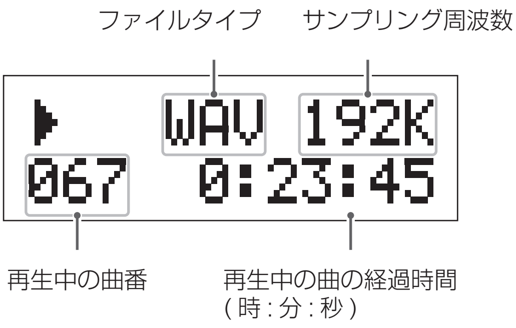


- 状態表示欄には以下のマークが表示されます。
  - ■ :停止
  - ► :再生
  - ❚❚ :一時停止
  - ◄◄:早戻し
  - ►►:早送り

4 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押して、再生を始める。

オーディオCDの表示例

WAVディスクの表示例

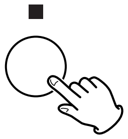


DSD ディスクの表示例

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間（オーディオ CD のみ）が表示されるまでお待ちください。
- 最後の曲の再生が終わると停止します。
- ディスクが入っていない場合は「No Disc」と表示されます。
- フォルダーに入っていない WAV/DSD ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。ROOT フォルダーの 1 曲目から再生が始まります。
- WAV/DSD のファイルの入っていないフォルダーはスキップして再生します。

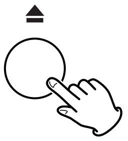
再生を停止するには

停止ボタン（■）を押します。

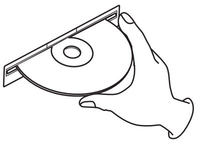


ディスクを取り出すには

停止中に取り出しボタン（⏏）を押します。

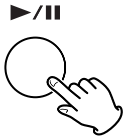


ディスクが途中まで排出されます。ディスクの側面を持って引き抜いてください。



再生を一時停止するには

再生 / 一時停止ボタン（►/❚❚）を押します。

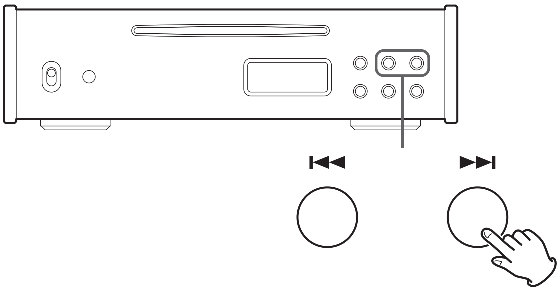


- 再生 / 一時停止ボタン（►/❚❚）をもう一度押すと、再び再生が始まります。

基本操作（続き）

聴きたい部分を探すには（サーチ）

再生中にスキップボタン（⏮/⏭）を押したままでいると、早戻し / 早送りができます。

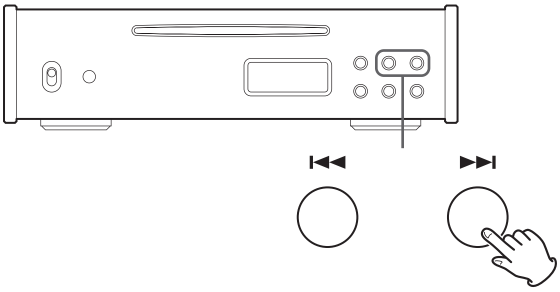


聴きたい部分で指をはなしてください。

- 最後の曲の終わりまで早送りすると、停止します。
- リモコンではサーチボタン（◀◀/▶▶）を使用してください。

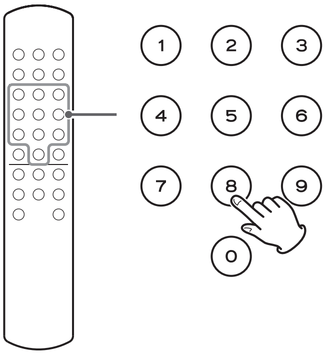
聴きたい曲を探すには（スキップ）

再生中にスキップボタン（⏮/⏭）を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、繰り返し押してください。



- 停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で（一時）停止状態になります。再生 / 一時停止ボタン（▶/❚❚）を押すと再生が始まります。
- 再生中は、⏮ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を繰り返し押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

好きな曲から再生する



再生中または停止中に数字ボタンで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

例：

曲番 3： ③ または ⓪ → ③

曲番 15： ① → ⑤

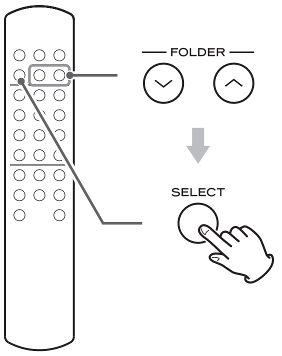
曲番 107： ① → ⓪ → ⑦

フォルダー / ファイルを選ぶ

再生中や停止中に WAV/DSD のフォルダーを探したり、聴きたい曲を探すことができます。

フォルダーを選ぶには

フォルダーボタン（FOLDER ∧/∨）を押して希望のフォルダーを選び、選択ボタン (SELECT) を押します。



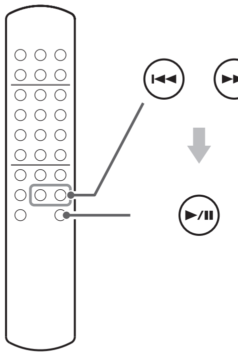
例

選んだフォルダーの最初の曲から再生が始まります。

- フォルダーの階層によっては、フォルダーや曲の順番が前後することがあります。

曲を選ぶには

スキップボタン (⏮ / ⏭) を押して希望の曲を選び、再生 / 一時停止ボタン (▶/⏸) を押します。



例

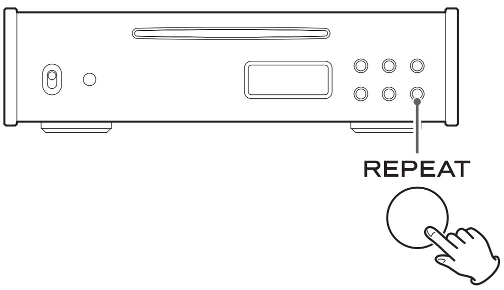
選んだ曲から再生が始まります。

- フォルダー内の曲を選びたいときは、先にフォルダーを選択してください。

- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字（1 バイト文字）しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字（2 バイト文字）が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。

- 表示画面は選択されているディスプレー表示によって変わります。(24 ページ)
ファイル名を表示したい場合には、ディスプレーボタン (DISPLAY) を押して、表示を切り替えてください。

リピート再生



リピートボタン（REPEAT）を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

オーディオ CD、ディスクモードのとき

RP 1（1曲リピート）
↓
RP A（全曲リピート）
↓
（通常の再生）

フォルダーモードのとき

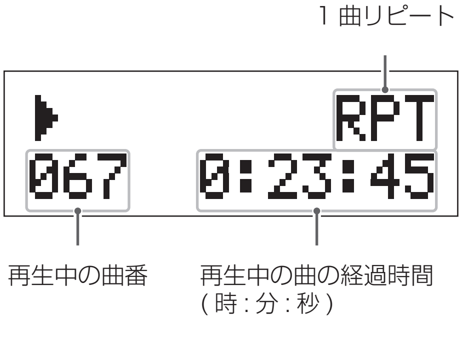
RP 1（1曲リピート）
↓
RP F（フォルダーリピート）
↓
（通常の再生）

- 停止ボタン（■）を押すと、リピートモードは解除されます。

1 曲リピート（RP 1）

再生中の曲が繰り返し再生されます。他の曲を選ぶと、その曲が繰り返し再生されます。

例



- 停止中に 1 曲リピートを選んでから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

フォルダーリピート（RP F）

（WAV/DSD ディスクのみ）

再生中のフォルダーの全曲が繰り返し再生されます。

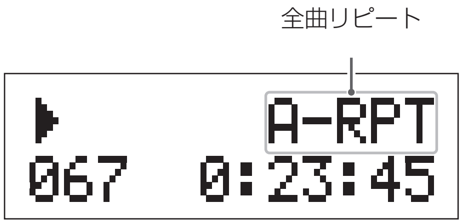
例

- 停止中にフォルダーリピートを選んでからフォルダーを選んで再生すると、そのフォルダーの全曲が繰り返し再生されます。

全曲リピート（RP A）

ディスクの全曲を繰り返し再生します。

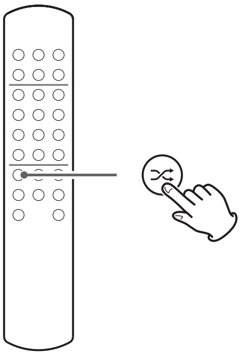
例



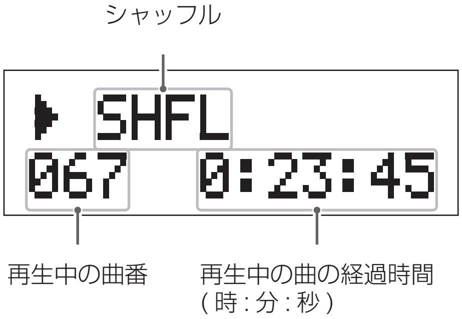
- プログラム再生中は、プログラムされた曲が繰り返し再生されます。

シャッフル再生

シャッフルボタン（⤮）を押すと、ディスクの曲がランダムに再生されます。



例



- フォルダーモードの時ににシャッフルボタン（SHUFFLE）を押すとフォルダーにある曲がランダムに再生されます。
- シャッフル再生中にシャッフルボタン（SHUFFLE）を押すと、シャッフル再生 (リピート再生を含む) が解除され、再生中の曲を通常再生します。
- 停止ボタン (■) を押してシャッフル再生を停止すると、シャッフル再生 (リピート再生も含む) が解除されます。
- シャッフル再生中にスキップボタン (▶▶I) を押すと、次の曲がランダムに選択されて再生されます。スキップボタン (I◀◀) を押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフル再生モードのときは、数字ボタン、フォルダーボタン (FOLDER ∧/∨) を押しても機能しません。

リピート再生

シャッフル中にリピートボタン（REPEAT）を押すたびに、以下のようにシャッフルのモードが変わります。

オーディオ CD、ディスクモードのとき

SHFL（シャッフル再生）
↓
SHFL RPT（シャッフルリピート再生）
↓
SHFL A-RPT（シャッフルオールリピート再生）

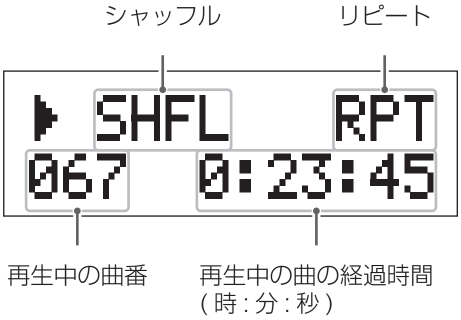
フォルダーモードのとき

SHFL（シャッフル再生）
↓
SHFL RPT（シャッフルリピート再生）
↓
SHFL F-RPT（シャッフルオールリピート再生）

シャッフルリピート再生

再生中の曲を繰り返し再生します。

例

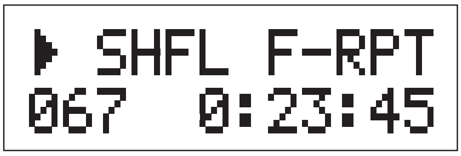


シャッフルオールリピート再生

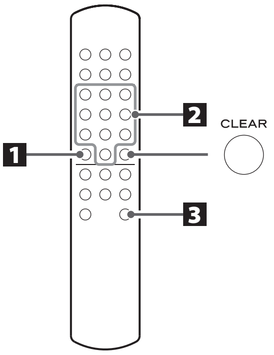
シャッフル再生を連続して行います。
停止ボタン (■) を押すまでシャッフル再生を続けます。

例 **オーディオ CD、ディスクモードのとき**

フォルダーモードのとき



プログラム再生



ディスクの中から、99 曲までプログラムして再生することができます。

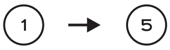
- プログラムする前にディスクを入れておいてください。

1 停止中にプログラムボタン（PROGRAM）を押す。

- WAV/DSD ディスクの場合は、曲番は 3 桁表示になります。
- 再生中はプログラムできません。

2 数字ボタンで曲を選択する。

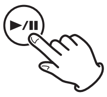
例：曲番 15 をプログラムする場合



希望の曲を全てプログラムするまで、2 を繰り返します。

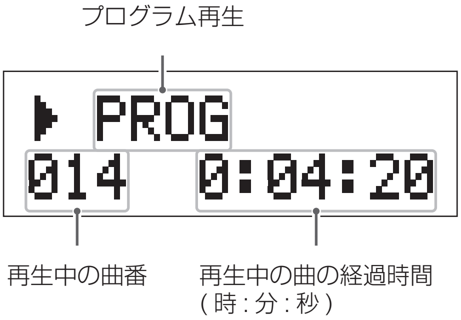
- 99 曲を超えると「P-FULL」と表示されます。
- 間違えてプログラムした場合、クリアボタン（CLEAR）を押すと最後にプログラムした曲が削除されます。
- ディスクに存在しない曲番はプログラムできません。
- 停止ボタン（■）を押すと、プログラムは消去されます。

3 再生 / 一時停止ボタン（►/II）を押す。



プログラム再生が始まります。

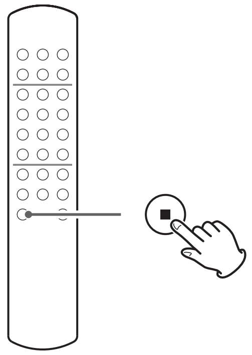
例



- 全ての曲目の再生が終わると、自動的に停止します。

プログラム再生を停止するには

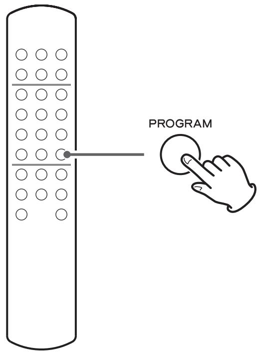
停止ボタン（■）を押します。



● プログラムした内容はメモリーされています。再生 / 一時停止ボタン（▶ / ❚❚）を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容をチェックするには

停止中にプログラムボタン（PROGRAM）を繰り返し押します。



押すたびにプログラム番号とプログラムした曲番が表示されます。プログラムの最後に「P-END」と表示されます。

● 元の表示に戻るには、プログラム再生を開始して、停止します。

リピート再生

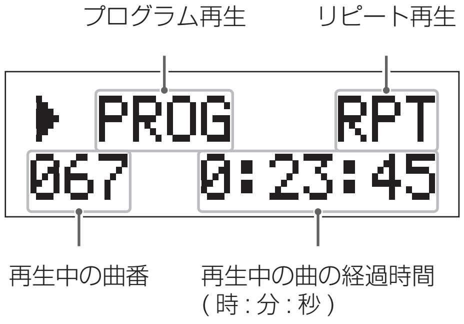
プログラム再生中にリピートボタン（REPEAT）を押すたびに、以下のようにプログラム再生のモードが変わります。

PROG（プログラム再生）
↓
PROG RPT（プログラムリピート再生）
↓
PROG A-RPT（プログラムオールリピート再生）

プログラムリピート再生

再生中の曲を繰り返し再生します。

例



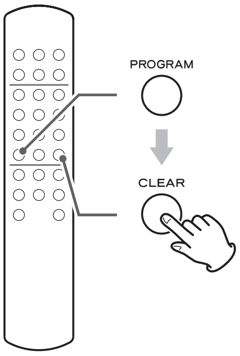
プログラムオールリピート再生

プログラム再生を連続して行います。
停止ボタン（■）を押すまでプログラム再生を続けます。

例

プログラムの一部を削除するには

停止中に、削除したい曲番が表示されるまでプログラムボタン（PROGRAM）を繰り返し押してから、クリアーボタン（CLEAR）を押します。

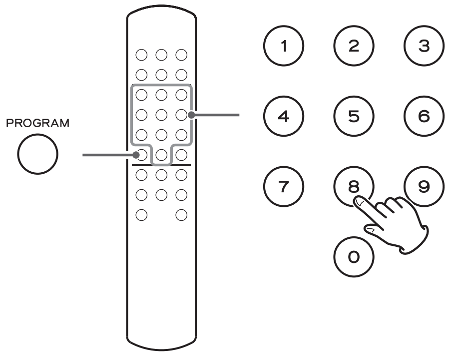


プログラムからその曲が削除され、次にプログラムされていた曲が繰り上がって表示されます。

- 複数の曲を削除するときは、同じ操作を繰り返してください。
- クリアーボタン（CLEAR）を 3 秒以上押し続けると、プログラムされていた全曲が削除されます。

曲を追加するには

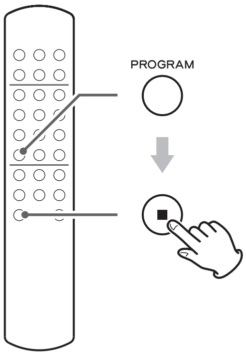
停止中に、プログラムボタン（PROGRAM）を繰り返し押して、追加したい位置の次のプログラム番号を表示させてから、数字ボタンで曲番を選びます。



- プログラムの最後に曲を追加したい場合は、プログラムボタン（PROGRAM）を繰り返し押して、「P-END」を表示させてから、数字ボタンで曲番を選びます。

プログラムの内容を全て消去するには

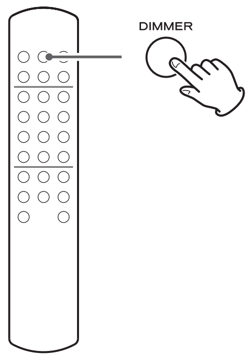
停止中にプログラムボタン（PROGRAM）を押してから、停止ボタン（■）を押します。



- 以下のいずれかのボタンを押したときも、プログラムの内容は全て消去されます。
  開閉ボタン（⏏）
  本体の主電源スイッチ（POWER）

ディマー

ディスプレーの明るさを調節することができます。



ディマーボタン (DIMMER) を押すと、ディスプレーに「DIMMER」と表示され、ディマーボタン (DIMMER) を押すたびに、ディスプレーの明るさが以下のように変わります。

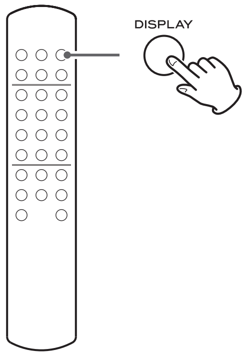
NORMAL（通常の明るさ）
↓
DIMMER（やや暗い）
↓
DIMMER（暗い）

- ディマーボタン (DIMMER) を押してから数秒で元の表示に戻ります。

ディスプレーの表示

表示する情報を変える

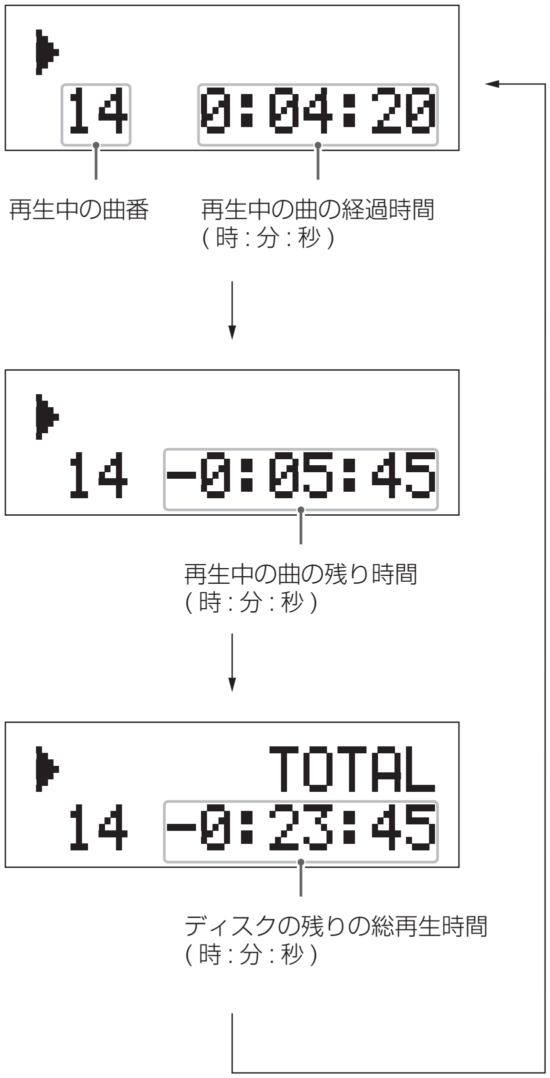
ディスプレーに表示される情報を変えることができます。



ディスプレーボタン（DISPLAY）を押すたびに、以下のように情報が変わります。

オーディオ CD

例



ディスプレーの表示 (続き)

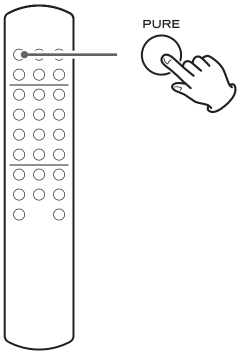
WAV/DSD ディスク

例

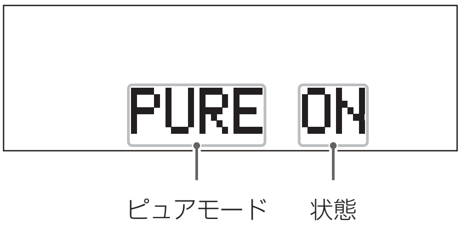
- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字（1 バイト文字）しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字（2 バイト文字）が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。

ピュアモード再生

停止中、または一時停止中にピュアモードボタン (PURE) を押すたびにピュアモード再生のオン、オフが切り換わります。



再生中にピュアモードボタン (PURE) 押すと、現在の状態 (ON/OFF) を数秒間表示して元の表示に戻ります。



CD/PCM 再生時

デジタル出力をオフにし、機器内部のデジタルノイズの発生を抑えた音楽をお楽しみ頂けるモードです。

- デジタル音声出力端子から音声信号が出力されません。

DSD 再生時

DSD データーをボリュームコントロールやΔΣ変換を通さずに直接 D/A 変換するモードです。
DSD の原音を直にお楽しみ頂く場合にご使用下さい。

- ピュアモードで DSD 再生をすると、通常再生時より約 3dB 音声出力レベルが低下します。

注：50kHz のデジタル・フィルターを通さずに DSD 音源が原音のまま出力されます。スピーカーを破損しないようお客様の管理の元でご利用下さい。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない

➡ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない

➡ アンプやレシーバー、スピーカーとの接続を確認してください。
➡ アンプやレシーバーの操作を確認してください。
➡ ピュアモード再生時は、デジタル音声出力端子から音声信号が出力されません。(24 ページ)

リモコンで操作できない

➡ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

テレビなどが誤動作する

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。
その場合は、本機のリモコンを操作する間は他の機器の電源を切ってください。

再生できない

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクの印刷面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスク、ファイナライズされていないディスクは再生できません。CD-ROM/R/RW 、DVD-ROM/ ± R/RW を再生するときは、録音 / ファイナライズされているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-ROM/R/RW 、DVD-ROM/ ± R/RW を再生できないことがあります。

音飛びする

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

プログラム再生できない

➡ 電源を切ったり、ディスクを取り出すと、プログラムは消去されます。誤ってプログラムを消去してしまった場合は、もう一度プログラムし直してください。

オートパワーセーブにより電源がスタンバイになった

➡ スタンバイ状態のとき、本体またはリモコンのボタンを押すと、電源がオンになります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露した時は、約 1 〜 2 時間放置した後、電源を入れてお使いください。

仕　様

CD 部

再生メディア

CD-DA、CD-ROM/R/RW
(ISO9660 LEVEL 1/2/JOLIET フォーマット)
DVD-ROM、DVD ± R/RW
(UDF、DVD-ROM 互換フォーマット)

- 12cm ディスクのみ使用可能

再生フォーマット

CD_DA ・・・ オーディオCD(44.1kHz、16ビット)
PCM(WAV)・・・44.1k、88.2k、176.4k、48k、96k、192kHz (16/24ビット)
DSD・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2.8MHz、5.6MHz

CD_DA

周波数特性・・・・・・・・・・・・・20Hz-20kHz(JEITA)
S/N比 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116 dB(JEITA)
歪率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.0013%(JEITA)
ダイナミックレンジ ・・・・・・・・・・ 103 dB(JEITA)

PCM(192kHz/24 ビット)

周波数特性・・・・・・・・・・・・ 20Hz-80kHz(JEITA)
S/N比 ・・・・・・・・・・・ 116 dB(JEITA、可聴帯域)
歪率・・・・・・・・・・・・0.0004%(JEITA、可聴帯域)
ダイナミックレンジ ・ 118 dB(JEITA、可聴帯域)

DSD

周波数特性・・・・・・・・・・・ 20Hz-80kH z (JEITA)
S/N比 ・・・・・・・・・・・ 116 dB(JEITA、可聴帯域)
歪率・・・・・・・・・・・・0.0005%(JEITA、可聴帯域)
ダイナミックレンジ ・ 112 dB(JEITA、可聴帯域)

出力

アナログ出力端子 (RCA)
出力インピーダンス ・・・・・・・・・・・・・・・ 100Ω
基準出力電圧レベル ・・・・・・・・・・・・ 0.32Vrms

デジタル出力端子 (COAXIAL)
出力インピーダンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75Ω
出力レベル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0.5Vp-p

デジタル出力端子 (OPTICAL)

- デジタル出力 (COAXIAL、OPTICAL) のサンプリング周波数、ビット数は再生ソースと同じになります。但し、DSD 再生時、及び CD/PCM の PURE モード再生時は出力されません。

一般

電源電圧・・・・・・・・・・・・・・・・AC 100V (50/60Hz)
消費電力・・・・・・・・・・・・ 11W (100V 50Hz/60Hz)
外形寸法・・・・・・・・ 290mm x 81.2mm x 244mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4.2kg
許容動作温度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ +5℃～ +35℃
許容動作湿度 ・・・・・・ 5% ～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ー 20℃～ +55℃

付属品

RCA オーディオケーブル × 1
電源コード × 1
電源コード変換コネクタ (3P-2P) × 1
リモコン（RC-1306）× 1
リモコン用乾電池（単 4）× 2
取扱説明書 (本書) × 1
保証書 × 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上､大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

25ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー
PD-501HR

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

愛情点検

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30 ～ 17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0313.MA-1855B